

Aさんは絵本をめくる手の動きや活動道具を箱から出し入れをする動きなど、人の動きをよく見えています。1mく



本です。絵本を持つていくと表紙の黒い背景に浮き出るように映る月の絵をじっと見つめています。お月様が出てくる所からページをめくる動き、お月様が完全に出てくる所まで身体の動きを止め覗き込むように見えています。お月様が完全に出てくると視線を絵本からはずし、ふっと職員の方に視線を向けました。お月様が出てくるまでの間、意識を集中しているようでした。段々と月が出てくる、何かが出てくるというような画面の変化に期待感やおもしろさがあるようでした。

らい離れたところで向き合い「1, 2, 3, ...」とカウントをして段々とAさんに指を近づけていきます。最後に指で身体にゆっくりと触れます。カウントし始めると視線を上に向け笑みが見られます。最初は「1, 2, 3:」という掛け声のリズムを聴くことでもおもしろさを感じているようでしたが、段々と近づいていく職員の手の動きを感じて手にじっと視線を向けていました。最後、「10」で身体に触れようとゆっくり手を近づけていくと手の動きを追うように見て、そっと触れられると表情が緩んでいました。触れるまでの動きをゆっくりにしたり手の動きを止めたり触れるまでに間を持たせたりすると、職員の手で視線を向けて動きを止めたまま笑みを浮かべていました。職員が次にする動きをうかがっているようです。触れられることを待っているようにも見えました。言葉や掛け声の間合いで期待が膨らんでいるようでした。



「小さな親切」運動

平成29年3月4日(土)、「小さな親切」運動静岡県本部より静岡銀行細江支店の皆さんがおみえになりました。2号館の窓ガラスや壁面の汚れを一生懸命に清掃してくださいました。

また、この奉仕活動に先立ち、「小さな親切」運動静岡県本部からパルスオキシメーターを1台寄贈していただきました。頂戴したパルスオキシメーターは、施設利用される方のために、有効に活用させていただきます。

職員一同、感謝申し上げます。



苦情解決委員会より (2016年10月～2016年12月)

受付日	苦情内容	回答日	苦情解決の結果	1月	2月
11/2	【おおぞらショートステイ】(ご家族より) 入所した時に痰がらみがある時の対応について伝えたが、その夜に、職員から「吸引が必要な状況であるためどうすれば良いか」という内容の電話連絡が入った。申し送りがされていないようで心配になった。	12/1	苦情受付担当者より「夜間に吸引が必要な状況になった際に、申し送り用紙に記載された情報どおり対応して良いか確かめるために、ご家族に電話連絡した」ことをご家族にご説明しました。また、電話連絡時「確認のため」ということをお伝えしきれなかったために、このようなご心配をおかけしたことを謝罪しました。その上で、今後もより安全に対応するために、状況によって、ご家族に問い合わせをする場合がある事をお伝えし、ご理解をいただきました。	74人 (423日)	78人 (441日)
				0人 (0日)	0人 (0日)
				15人 (4グループ)	10人 (3グループ)
11/2	【おおぞらショートステイ】(ご家族より) 退所時に、職員から「原因が不明であるが予備の経管栄養剤が1缶なくなった」と言われた。原因が不明なのは管理の面でおかしいと思う。	12/1	1回の経管栄養で余った経管栄養剤を次回の注入に使う際に、開封後の使用期限を読み間違えて、早く破棄してしまいました。そのため、予備の缶を使用していたのですが、その理由を伝えずに原因をあいまいにしまいました。苦情受付担当者より、今回の対応の経緯をご家族にご説明するとともに謝罪し、ご理解をいただきました。	0人 (0グループ)	18人 (2グループ)